



県小学生陸上競技記録会 (5・6年生希望者)

左の写真は、今月 2 日(日)に開催された第 52 回奈良県小学生陸上競技記録会の様子です。

当初計画では、7 月 30 日の開催でしたが、猛暑の影響でこの時期まで延期されていた大会です。

このようなことは今回が初めてで、南部と北部に分けずに一斉に行われました。

この時期ということで参加者も少ない様子でし

たが、それでも 1, 200 名の児童が参加し県内の同級生らと競い合っていました。

本校からは、5 年生の玉置龍之介くんと瀧本啓介くんが出場しました。龍之介くんは走り幅跳び、啓介くんは 100 メートル走にチャレンジしました。

上の写真のような本格的陸上競技場で、他校の同級生らと砂場に向かってジャンプしたり、100 メートルを駆け抜ける力を競い合った体験は、必ず次のステップに生きていくと思います。果敢に挑戦した二人の行動に拍手を送ります。二人には右の記録証が手渡されました。次回 6 年生ではこの記録を超えてほしいと思います。

みんなも様々な事にどしどし挑んで自分の力を確かめましょう。



ある新聞の記事から

子どもたちが自律し、自立するために

自ら考え自ら行動できる子どもを育むために、親や周囲の大人たちはどのように接したら良いのでしょうか？キャリア教育の現場で若者たちに向き合う経験を豊富にもつ武田祥子さんのお話です。

今どきの若者の傾向 環境や時代背景も一因

大学や専門学校の休み時間「先生、トイレに行っていていいですか？」「教科書忘れました。どうしたらいいですか？」と聞かれることが多くあります。昨今、自分で考えずに、すぐに答えを求め、甘えん坊で計画性がなく、粘り強さに欠ける学生が増えているように思えます。あきらめが早く、注意を受けたり叱られ

たりすることが苦手な半面、目上を怖がらずに反抗的で、他人に責任を押しつけるなど精神的に未熟な傾向が見られます。

でも、これらは、彼や彼女らのせいでしょうか？

現実と空想の世界の区別がつかず、無駄な努力を避ける若者が多いのは、安価な量販店のある中で育ち、多くのインターネット情報に流されてしまうような環境や時代背景の影響からかもしれません。

個人優先の時代にルールとマナー

ひと昔前、食事は「ご飯できたよ。」と呼ばれれば食卓に集合。お風呂は冷めないように順番に段取りよく入るか、銭湯に行きました。でも今や、電子レンジや自動販売機、24 時間営業のコンビニもあります。お風呂のある家も多く、いつでもシャワーが使えるなど、自我を抑えずとも特に困



キャリアシエンヌ代表、専業主婦38歳からのリスタートで、パソコン教室の事務職を経てIT講師となる。45歳でキャリアカウンセラーを取得、大阪市男女いきいき財団・労働局就職支援セミナーや企業の人材育成に関わり、藤井寺市男女参画推進協議会委員を務める。例年、年間に授業・講義を500回以上、100人以上に対してキャリアカウンセリングもおこなっている。

武田 祥子 さん

<http://www.career-siennu.com>

ることはありません。待ち合わせは適当に約束の場所へ行き、携帯などで連絡を取り合えば何とかになります。

かつて日常生活の中で自然と身につけてきたはずの「自我を律し他者を思いやり、物事の先を考え結果を予測すること」を今のように個人を優先させる時代の中で考えるのは、難しいのかもしれない。

自律し自立するために

では、将来、自ら考え行動できる人になるために、小学生から出来ることは何でしょう？

どうにも一人で対応できないことは、大人が受け止めるということをお大前提に、まず自分で考え取り組ませること。周囲はすぐに答えを出さないこと。そして、ある程度の役割・責任

を持たせ、多くの経験をさせること。仮にうまくいかない結果だったとしたら、次はどのようにすれば良いのかという前向きな課題解決の思考を持たせ、周囲は求められれば答えではなく、ヒントを出しながら、見守っていくことが大切なのではないでしょうか？

学習発表会2018!

「学習発表会」のご案内

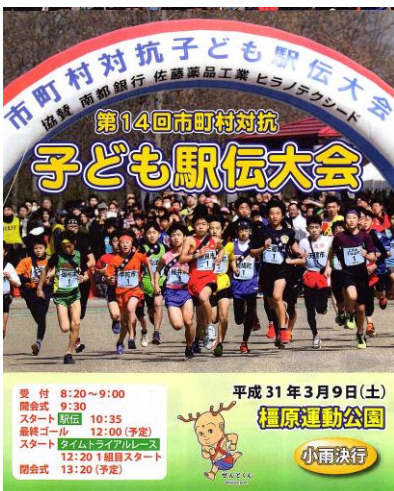
- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 1, 開催日 | 12月16日(日) |
| 2, 開始時刻 | 8時35分 (12時頃終了予定) |
| 3, 開催場所 | 本校 体育館 |
| 4, 入り口 | 本校中央玄関からお入りください |
| 5, 準備等 | 椅子を用意します。
防寒用具(膝掛けや座布団など)をご準備ください。 |

地域の方々、どなたでもふるってご参会ください。

この「学習発表会」は、これまでの学習のまとめとして全体場で発表させていただくものです。

特に、同学年や異学年との共同・協働活動の成果を発表することに重きを置いています。音読や音楽(合奏・合唱)、劇が中心です。友だちの出す音や声を聞きながら、自分の音や声を重ねていく力など、力を合わせることの素晴らしさを地域の方々の前で実感することがねらいです。

また、校区内の郷土芸能を学び合ったり、十津川高等学校に出場していただいたりと「ふるさと学習」の一端を体感し合う内容となっています。



第14回市町村対抗子ども駅伝大会

平成31年3月9日(土)に開催される標記「子ども駅伝大会」に向けて、本校から2名の児童が練習に励んでいます。

4年生の浦 朱美さんと、5年生の瀧本 啓介くんです。11月29日から始まった練習は、十津川中学校の運動場で行われます。時間帯は午後5時30分から午後7時までの1時間半です。本番まで凡そ20回練習を行う予定です。

昨年は、7年ぶり5回目の村の部優勝を果たしました。今年も、目標を持って練習に臨んでいます。練習する曜日は決まっていますが、その時間帯に十津川中学校のナイター照明が点いていたら、十津川第一小の児童に混じって練習に励む二人を応援してあげてください。「がんばれ」の一声が子どもたちを勇気づけます。

学校の教育目標

『かしこく、明るく、たくましく、豊かに創造する子』

めざす児童像

◎夢と志をもって努力する子

- ①意欲をもって遊ぶ・学ぶ・挑戦する子
- ②進んで考え・行動する子
- ③自分と他の人を大切にする子
- ④郷土を愛し、貢献する子